

パセッジャーカーからSUV、国産車からインポート車まで、ありとあらゆるクルマのホイールをプロデュースし続けるWORK。とかくそのデザイン性を重視して選びがちではあるが、様々なレースシーンで培われたノウハウを元に産み出される製品群は、言うまでもなく高い強度や安全性も重視されている。長年に渡るこの積み重ねが今日に至るWORKの信頼であり、それはこれからもイノベーションを続けてゆく。

●問い合わせ：WORK / URL : <https://www.work-wheels.co.jp>

機能と造形が産み出した 美しさへの飽くなき探究



素材の加工から組み立てに至るまで 一貫して国内生産にこだわり続ける

大阪府と岡山県に自社工場を設け、日々多くのユーザーにアルミホイールを提供し続けているWORK。1ピースだけでなく2ピースや3ピースといったホイールも数多くラインナップしているが、これらはその精度がハンドリングに直結するだけに、熟練のマイスターの手によって、1本1本組み立てること、極めて高いクオリティを実現している。大量生産向きではないかもしれないが、このような生産体とすることで、カスタムカラーなどのオーダーメイドにもきめ細かく対応することが可能だ。

そのWORKのラインナップに今夏新たに加わったのが、ここで紹介するGNOSIS AE201だ。10本のスポークが織りなすそのデザインは、スポーティさとエレガンスさを兼ね備えており、まさに知性という言葉が似つかわしい！今回はBMW 5シリーズと8シリーズに装着してみたが、どんなモデルにも似合う懐の広さが魅力で、新たなカスタムの扉を開く立役者となるに違いない。

ホイールをチョイスする際、一般的にはそのデザイン性に着目されがちである。もちろんそれも大切ではあるが、WORKのポリシーは高い強度と安全性。メイド・イン・ジャパンにこだわり続けることで、ユーザーに絶大な安心感を提供しているとも言える。

一般的な普及車メーカーの1つがWORKであり、その製法や素材は常に進化し続けている。また、ホイールを変更することで愛車の個性を強調したい！というユーザーのマインドをいち早く汲み取り多種多様なラインナップを構築。現在では26インチ・77アイテムを擁するまでに成長しており、その数が今後も増え続けていくことだろう。

ク ルマをカスタムするには欠かせないアイテムがアルミホイール。今ではドレスアップの第1歩であり、クルマのキャラクターを左右する「カナメ」として非常に重要な役割を担うパーツとして定着している。だが、半世紀ほど前の日本においては、ホイールをカスタムする文化はなく、あくまでも強度や軽さを追求したモータースポーツ用のパーツとして位置付けられていた。

WORK GNOSIS AE201

●問い合わせ: WORK / URL: <https://www.work-wheels.co.jp>

筋肉質な躍動感に欠かせない大口径の存在感

1:00~
00
定休日



表面から見ると、スポーク部分を極めて細くデザインしているが、奥側に厚みを持たせることで大パワーのハイパフォーマンスカーにもしっかり対応。スポークやセンターハブの非常にシャープな造形は、見る者の心を捉えて離さない。こちらはリバーズリムなので、スポークの長さもAE201の象徴的な部分だ。



BMWのフラッグシップスポーツモデルの8シリーズ。その存在感を損なわず、さらに高貴さも与えてくれる。まさに大人のドレスアップに最適だ。

プリムタイプの21インチ。ホイールの大きさよりも、リムの立体感や奥深さを強調できるのがポイントで、加えてブラッシュドとバフを組み合わせた、モノトーンでありながらも異なる色合いを演出するコンビジットバフブラッシュドが、他にはない妖艶な雰囲気を感ぜさせてくれる。

8シリーズに装着したのはリバーズリムの21インチ。スポークをリムエンドまで伸ばせるので、大径ホイールの存在感を際立たせたい人に最適。カラーは標準色のブラッシュドとなるが、グレーのボディカラーとのコントラストはもろろん、内装色とのマッチングも非常に美しい。

派手すぎず、さりげなく個性を演出したい。まさにAE201は、知的なカスタムを目指すユーザーに最適なアイテムだと約束しよう。



GNOSIS AE201

- サイズ: 21×9.5J+25(フロント) 21×11.0J+38(リア)
- カラー: ブラッシュド
- 構造: ツーピース構造
- 付属品: ツーピース構造
- 価格: フロント166,100円/本 リア172,700円/本

OPTIMAL ALUMINUM WHEELS BMW CUSTOMIZE STYLE



リバーズリムだからできる立体感と奥行きの世界



ボディカラーに合わせ、落ち着いたトーンをチョイス。またステップリムとすることで、クラシカルな雰囲気を演出することも可能だ。



リムの表面がフラットでなく、内側が一段高まって形状となるステップリム。スポークの長さがリバーズリムよりも若干短くなるが、立体感や奥行き感は非常に強調される。またBRAVEのデモカーがチョイスしたコンビジットバフブラッシュドは、スポークの表面と側面の仕上げを変え、モノトーン風に見えつつも豊かなトーンを演出。

新発売となったGNOSIS AE201。サイズは20〜22インチを設定するが、実はリバーズリムとステップリムの2種類を設定する。19インチはリバーズのみで、22インチはステップだけとなり、21インチには両タイプのリム形状が用意されている。カラーバリエーションは標準色がマットシルバー/ブラック・アウトサイドポリッシュ/ブラッシュドの3タイプで、他にコンビジットバフブラッシュド/バフフィニッシュの2タイプも特注で製作可能となっている。PCDは5H100/112/114.3/120を設定するが、108〜120・65までの間なら、特殊PCDにも対応が可能なので、ホイール選びで悩んでいた人にはまさに朗報と言えるだろう。

5シリーズに装着したのはステップ

GNOSIS AE201

- サイズ: 21×9.0J+28(フロント) 21×11.0J+46(リア)
- カラー: コンビジットバフブラッシュド
- 構造: ツーピース構造
- 付属品: センターキャップ、エアバルブ
- 価格: フロント174,900円/本 リア183,700円/本

